



月刊 おかじょうき

<http://www.okajiki.com/>

2023

7

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 6月例句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会 5月句会報	30
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	33～

カンテラ

おぼろ

闇バイトで、賑やかな通りにある高級時計店や宝飾店へ、外がまだ明るいのに強盗に入る若者が増えている。わざと掴まるためにやっているようなものだ。そんなことやめて、川柳でもやればいいのに。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

一つずつ荷物降ろして逝く彼岸	村上あつこ
決戦前夜有給休暇とる兵士	笹田隆志
終活の始まりまずは離婚する	坂本清乃
真夜中の雨が私にしがみつく	城後朱美
トンネルを抜けてトンネル見つめてる	辻井洋子

体」があつて「え!？」と思つた次第。カタカナの「ブツタイ」にした意図はどこにあるんだろう。日本語って難しいね。ところで吹喜さん、どうして「タマシイ」が「抜けた」の?病院に行かなくて大丈夫?

B群

ベレー帽の男と暮らす穴を掘る	まきこ
満月になったら僕を差し替える	三浦蒼鬼
しゃべるだけしゃべった後の注射針	村上てる
筆順が間違つてると追い詰める	ひとり静
しあわせを何処かで嗅いだことがある	芝岡かんえもん
何色も色ませあわせ夜つくる	柳本恵子
祭りだと悟られぬよう西を向く	葉 閑女
点線の通り切つたら叱られた	守田啓子
遠浅の言い訳に夕日が沈む	米山明日歌
一日一回の森になる時間	奈良一艘
逆流性食道炎に雨が降る	鳴海賢治

鳴海賢治さん、「逆流性食道炎」になつたのですか?

背伸びしてたわんだ空を押し上げる	夏草ふぶき
ねえ坊や何を握って生まれたの	ひらく
炭酸で割つても淀むサヨウナラ	きさらぎ彼句吾
待つてよ雨冠が取れるまで	熊谷冬鼓
訃が届く尾ひれ一緒に付いてくる	斎藤泰子
百均でみつけた復活の呪文	宮井いずみ
拾われるほどの骨じゃあござんせん	村井規子
苔の花ポーツと眺め旅は晴れ	吉田州花
タマシイの抜けたただのブツタイです	吉田吹喜

吉田吹喜さん、「タマシイ」は「魂」で、「ブツタイ」は「物体」ですよ。広辞苑を引いたら「タマシイ」は「魂」しか出ていないのに、「ブツタイ」には「物体」と「仏

広辞苑を引いたら「胃液の逆流によって起こる食道下端部の炎症。潰瘍・出血を起こすことがある。胃食道逆流症。」とあって、ネット検索したら「加齢や食習慣、肥満、姿勢などによって、食道と胃の境目にある下部食道括約筋が弱まったり胃酸が過剰に分泌されたりすることで発症します。」とありました。「加齢や食習慣、肥満、姿勢」のところがわたしにぴったり当てはまつてびっくり。「逆流性食道炎」に雨が降つたらどうなるんだろう。気をつけなくっちゃ。

C群

いい出汁がでますラクダのコブなんで	石橋芳山
逆上がり得意な姉が明日嫁ぐ	須藤しんのすけ
通行人①のキャラが濃すぎるのよ	土田雅子
デモ隊が尿路感染する湿度	安藤なみ
やきそばと戦闘機の年齢差	小野五郎

石橋芳山さん、「ラクダのコブ」って漢字で書くところ「駱駝の瘤」ですよ。「駱駝の瘤」には水が入っている

とばかり思っていたら、脂肪が入っているようですね。砂漠で長い間食べ物を食べなくても生きていくためのしくみなのだから。で、芳山さんは「ラクダのコブ」で出汁を取るのですか……。ところで芳山さん、ラクダが長い間何も食べないと、脂肪が少しずつ使われコブがだんだんしぼんで、垂れたようになるそうです。知ってた？

須藤しんのすけさん、「明日嫁ぐ」のが「逆上がり」の「得意な姉」って、組み合わせがぶっ飛んでいてびっくりしました。「頭突きが得意な姉」でも「四の字固めが得意な姉」でも「カラオケが得意な姉」でも、いろんな「姉」を取り合わせることもできるのに、わざわざ「逆上がり」が得意な姉」を持って来るって一種の才能だよな。(スリスリ)ところで、そのお姉さん何歳？

土田雅子さん、いきなりの「通行人①」に驚きました。「通行人A」でも「通行人甲」でも「通行人壱」でもいいのに「①」とはね。何か特別な意味があると思ってしまうじゃないですか。で、「キャラが濃すぎるのよ」と書いて、これまた驚き。句を読んで、だからどうなのよ、と言うひとともいると思いますが、要するに「通行人」が

主役より目立つちゃダメってことだよな。あれ？この主役って雅子さん？

安藤なみさん、「尿路感染」だなんて難しい医学用語を知っていますね。「尿路感染症は感染した場所によって膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎(じんうじんえん)などに分けられ、原因はほとんどの場合、尿道口から大腸菌などの細菌が入ることです。」ってネットのあるところに書いてありました。「尿路感染」に「湿度」が関係している、「デモ隊」が感染する「湿度」があるってことは、どこにも書かれていません。これ、なみさんの新発見かもね。ところで、その「湿度」だとどんな「デモ隊」でも感染するの？なみさん、感染経路あるの？

小野五郎さんは、「やきそば」の研究者でしたか……。わたしは「やきそば」の「年齢」なんて考えたこともありませんでした。保存が利きそうなインスタントの「やきそば」もあるんだよね……。で、何のために「戦闘機」と「年齢」を比べるの？あ！83歳で29歳の恋人に第4子ができたアル・パチーノのことを思い出した……。ううう……。混乱しちまつたぜ。

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅6月月間賞

尿道口からハシビロコウのがつつがつ

奈良一艘

熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

その時はその時カッコウ鳴いている
ヨッコラシヨ白線引きがやつてくる
強ばった背骨に濃霧注意報
待つてよ雨冠が取れるまで
雑草の居場所を広くしてあげた

先月号の
お気に入り

お先へどうぞ風と遊んでいますから 齋藤泰子
隣りに座らせてもらってもいいですか？

齋藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

訃が届く尾ひれ一緒に付いてくる
平熱に戻る過程のなんやかや
しがらみのひとつふたつも飾りです
もやもやが形にならぬ原稿紙
半身はすでに歪んで今日の晴れ

先月号の
お気に入り

四捨五入ついでのように捨てられた 齋藤蛙井
わたし、4.5のつもりだったのですが・・・やっぱりそんな
りますよね・・・

坂本清乃

〔さかもときよの・青森県蓬田村〕

本家には本家の威厳秋田フキ
終活の始まりまずは離婚する
前例がないと言いつけ根深ネギ
青空が乱れてしまった弾道弾
五月晴松の花粉で咽て居る

先月号の
お気に入り

笹田隆志

〔ささだたかし・青森県青森市〕

臯月晴れカネさえあれば風揚げる
一歳二歳は乳を銜えて遊んでた
決戦前夜有給休暇とる兵士
弁護士になりそなたで法衣喰う
燃料棒ゴツンゴツンと膝たたく

先月号の
お気に入り

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

邪魔くさいものから捨ててゆくおうち
せわしく生きる俺は十六分音符
しあわせを何処かで嗅いだことがある
このチャイム押せば昔が顔をだす
青すぎる海はとつても生きにくい

先月号の
お気に入り

欲しい言葉が海になるまで見つめあう きさむぎ彼句音
たぶんわたしには我慢できない。

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

草青々と罪悪感に満ちており
雨降って怪我は無かったことにする
真夜中の雨が私にしがみつく
土砂降りから小雨女になりました
窓を打つ雨が教えてくれました

先月号の
お気に入り

足湯で開花した第七のチャクラ きさむぎ彼句音
ついに第七のチャクラが開いたのですね。悟りの境地は、
いかがですか？私はまだまだ入口です。

須藤しんのすけ

〔すとうしんのすけ・青森県弘前市〕

逆上がり得意な姉が明日嫁ぐ
朝カレー朝ラーメンの破壊力
見つかりました尾崎に盗まれたバイク
明日からガラスの翼持ち歩く
太ももにはさむ美食家の夕景

先月号の
お気に入り

これきりの青いトビラを手に入れる 熊谷冬鼓
最後に手に入れたのは、何処にでも行けるはずのトビラ。
そのトビラはやっぱり青空色でした。

瀧尻善英

〔たきじりよしひで・青森県八戸市〕

頬杖の目線に僕のユートピア
予定表活断層の上で書く
よそ行きの服コーディネートマスク
イザナミの桃を落札した佳局
俺だけの桃源郷を書くペンだ

先月号の
お気に入り

白になるうなんて言うからつらくなる 齋藤泰子
煩惱が多すぎて、なかなか白くならない私です。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

考え考え練るに練る浅はか
一泊に三万かけて眠られず
コロナの谷間病院の谷渡り
寝つく時間を知るためのまんじり
体内磁北が常識に微々たる

先月号のお気に入り
移り香も残り香もセーターほどく
きさき彼句香
憎しみもほどいて繋がりない紐に、
できるか??

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

夢をみる空飛ぶ車いいもんだ
夜が明けるスギナの起きる音を聞く
庭に猫そろそろ三時お茶にする
家事終えて満面笑みで見得を切る
トンネルを抜けてトンネル見つめてる

先月号のお気に入り
石を蹴る足があんなに痛いとは
渡邊こあき
何度も蹴っちゃった。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

そんな日のバリつと夕日裂ける音
地政学的バナナとメロンの位置関係
ヒトリメシこんな不味い飯はない
一日一回の森になる時間
ニンゲンの根塊介護誤炎症

先月号のお気に入り
聞き役は味しみしみの大根に
熊谷冬鼓
ふっふっふ…

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

転びやすい川転ばずに歩く
Tシャツを着てはいるけど地動説
長居は無用風通りすぎてゆく
皮膚がんもポリープ切除もご破算に
逆流性食道炎に雨が降る

先月号のお気に入り
溜まっていく消化出来ないものばかり
村上あつこ
消化を何に喩えるかで、おもしろくなる。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

静粛に、ただいまルンバ発動中
さあマスク美人の魔法解かれる日
残念ねあなたの顔の下半身
通行人①のキャラが濃すぎるのよ
どの指も八方塞がりなんですの

先月号のお気に入り
昨日まで椿な日々があつたのよ
吉田州花
確かにございました。

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

背伸びしてたわんだ空を押し上げる
珈琲の湯気がちよつかい出してくる
あくびしたらよるがほどけていつちやつた
落ちてきやしないか死にかけの夜月
裏山の17町歩を抱え込む

先月号のお気に入り
六十七こんなに脆くなった冬
城後朱美
そうです、冬に気づきますね。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

迷ってる四角いかたち変えながら
親ガチャ子がチャ今を静かに泡立てる
三角にまた三角に折り迷う
御成敗式目また要りますね
筆順が間違つてると追い詰める

先月号のお気に入り
野仏の耳にイヤホンつけてやる
坂本清乃
たぶん野仏は風を聞いているからさみしくないとと思う。

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

最初はグー百花繚乱春めいて
ねえ坊や何を握って生まれたの
擦り剥いた膝小僧から見る明日
エプロンがロックを刻む金曜日
相席をマンモス君に押し切られ

先月号のお気に入り
思い切りガトーショコラな午後にする
辻井洋子
大人な午後ですね

まきどり【まきこ・青森県青森市】

ベレー帽の男と暮らす穴を掘る
だろうだろうと折れてしまった棒グラフ
プーチンが円周率をそらんずる
ゆるキャラでいましょう今日という日だけ
ペチュニアのピンク明日の風まとう

先月号のお気に入り
お先へどうぞ風と遊んでいますから 齋藤泰子
こんなんびりさが素敵です。欲しいです。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

気晴らしにされたら困るみじん切り
潤いがなくて涙も出やしない
大そうなことじゃなくても泣けたのに
ひとつぶの涙の重さどこへやら
あつごめん話題変えますコンニチハ

先月号のお気に入り
残念ちらっと閃いたんだけど 吉田吹喜
残念 ちらっとじゃ足りないですよ。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

白米と親戚だつて角砂糖
大人以前に人として未完
目指すのは平屋住まいの元氣婆
申し訳程度の春がいつちやつた
拾われるほどの骨じゃあござんせん

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

切つてしまえ悪縁奇縁腐れ縁
飲み込んだ小言発酵する腹の中
いつの間にか出来ないことが増えて古稀
一つずつ荷物降ろして逝く彼岸
猫バスで三途の川を渡る夢

先月号のお気に入り
滑舌の悪さはきつと厚着のせい まみどり
そっだったんですね。暖かくなって薄着になれば舌も軽
やかに回るようになるのね?!

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

血液がサラサラ素っ気ない鼓動
非常識でしたわたくしだけの空
針の穴から大海を狙つてる
満月になつたら僕を差し替える
寝不足な日が人間の裏にある

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

海色のネイルうきうき上野駅
新月へパオーンと鳴いたぬいぐるみ
ゴンズイのわらわらにまた妥協する
百均でみつけた復活の呪文
揺蕩うていいのね夜の神戸港

先月号のお気に入り
鹿の目が濡れて説得されそっだ ひとり静
奈良公園で強引にせんべいを取りに来る鹿の目なら突っ
はねられますが。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

春だもの心のしこり脱ぎすてる
流れ星願いごと多く消えました
裁ち鉄切りきざんでゆくいやな事
しゃべるだけしゃべつた後の注射針
棚の鉢父の匂いをうみだして

先月号のお気に入り
躓いたこんな低い縁なのに 渡邊こあき
油断大敵ですね目立たない所に危険がひそんでいるので
す

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

ストローで吸い込む春のジャガジャガ
こんな時も恙無く咲くZの木
ぬるり鯉泳ぐ母さんだつたとこ
点線の通り切つたら叱られた
オカリナをおいかげながらおいてゆく

先月号のお気に入り
日曜のヒダのところを二周半 石橋芳山
月曜に備えて二周半に抑えておきましょう

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

バンドエイドだけで治る心の傷
そんな時は珈琲のんで窓の雨
何色も色まぜあわせ夜つくる
箱庭に置くライオンもシマウマも
徒歩でゆく一番遠い夢の街

先月号のお気に入り
思い切りガトーショコラな午後にする 辻井洋子
アールグレイでも添えて、まったり過ごす人生の午後。
至福の一時ですね。

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

静寂を突き抜け虎になる夜更け
前触れもなくやつてくる寅次郎
引越しの悪夢の中の合評会
祭りだと悟られぬよう西を向く
野の花と君の声音に青時雨

先月号のお気に入り

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

桜闇こはこの世じやないこの世
苔の花ポーツと眺め旅は晴れ
強くなるもんだ微酔ひとり旅
占い師明日の一步め左から
指きりを忘れぬように北枕

先月号のお気に入り
カラカラとグラスを振って呼ぶジブン Sin
そうだし!!と思つて最近グラスを振っています。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

カチカチカチ不満吐き出すボールペン
ポキポキポキ何度も折れているココロ
タマシイの抜けたただのブツタイです
そんなものないよ真つ暗闇なんて
大丈夫 根拠はないが大丈夫

先月号のお気に入り
お金かねお金金おつかねえ 旅男
その通りだなあと思っています。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

珈琲へ青葉若葉が溶けてゆく
春嵐ことしの檸檬育たない
楽しんだ者勝ちでこぼこの道も
青い花咲いて批判のチューリップ
いちじくの切り株鳥はもう来ない

先月号のお気に入り

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

わたくしを真つ暗にして歩かせる
ささやかに騙せる人が見つかった
腰の深さまで淋しさを知った夜
遠浅の言い訳に夕日が沈む
下ネタでくくつてしまう玉手箱

先月号のお気に入り
掻き揚げのせいだ直滑降な舌 岩根彰子
わたしも掻き揚げ大好きです。直滑降な舌にならぬよう、
気をつけなければ。

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

吠えている先はなんだろヤマザクラ
深海でうたた寝お隣りはウツボ
小豆と煮込む怠けグセうまかるう
夕陽背負いほくそ笑んでる金曜日
じたばたしない柿渋で染まつたから

先月号のお気に入り
移り香も残り香もセーターほどく きざらぎ彼句香
侘しさと新たなスタートの対比が見えて、心がキュッと
なりました。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

コンビニに友の新聞初桜
かき揚げの油もたれて黄砂降る
柏もち今年も君に会えました
花曇りアップルパイを食べに行く
コショウ引くなにかいいことないですか

先月号のお気に入り
だからだと春には似合わない歩幅 まみどり
夏にはスイスイ泳ぐように歩きたいものです。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

満員のローカル線は平行棒
左手は右手を信じ過ぎている
デモ隊が尿路感染する湿度
スーダンに水鉄砲を援助する
地球って宇宙の私の臍だから

先月号のお気に入り
バチカンかサバカンかまだ決めてない 田久保重蘭
サバカンをお勧めします。バチカンは喰えないから。

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

いい出汁がでますラクダのコブなんで
トレイルラン話し相手は亀にする
顎ツンと突き出しロシアの軍艦
ト骨に使った妖精の肋
居留守だと分かる金平糖がある

先月号のお気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

向こうから白ネギさんを巻いた山羊
パサパサの声の訳ありブロッコリー
生き方を洗浄します穀物酢
カップの底に一昨昨年の一本気
額縁へ出汗巻き卵御一行

先月号のお気に入り
見ないふりは苦手 戦車進みます まぎこ
これも、これぞ川柳。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

寝所を切倒された八咫鳥
死後硬直が始まった輪ゴム
やきそばと戦闘機の年齢差
頬の線やたらと太い大統領
濫用している「ペンキ塗りたて」

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

春の古城で兵どもの風浴びる
海へ行けない日はミナトくんにTEL
母さんの軽は無敵の風だった
青鬼のアオジュラトラ涙味
世間の庭木揺らす風もつと吹け

先月号のお気に入り
ニンゲンに赤鉛筆がよく似合う 真島涼
赤鉛筆で添削して欲しい。

きさらぎ 彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

過去の重さでカラリ揚がらぬ鯨フライ
炭酸で割っても淀むサヨウナラ
きんぎよの尾ひれから衣擦れの涙
活魚だったのよ火花が散るまでは
数多のキズできていたのね薔薇のトゲ

先月号のお気に入り
ラッキーアイテムは紫のため息 Sin
そんなため息つけそう、振られ続けたら…つてもう紫で
した

むさし【むさし・青森県蓬田村】

信長の大腿骨の舌触り
くちびるで触れられ海になる時間
なむあみだなむあみだぶつやみばいと
自爆型ドローンが着地する背中
ノーサイドの笛が鳴ってる本能寺

無人駅は自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から
好きな作品とそれに対する
簡単なコメントもお寄せください。

深艘心理

天せいろズルズルあなたとは他人 守田啓子

(会員雑詠集 無人駅5月号より)

訳あって、カミさんとは私が23歳の時に見合い結婚をした。血液型はお互い生粋のA型。A型同士から産まれる子はA型かO型と決まっているそうだが、産まれた2男1女は全員A型。典型的なA型家族なのだ。うむ。同じ血液型で良いじゃないかと思われるだろうが、これがまたなかなか難しい。というのは、余りにも考え方の構築が同じなので相手の考えている事が分かりすぎるほど分かる。故に少しでもウソを付いたり浮気めいた動きなどはすぐにバレバレなのだ。ま、しかしそれでも結婚して53年にもなるのだからこれもまた縁つてもんなんでしようなあ。

で、掲句だが、他人だと言っている相手は友人とか知り合いでは多分ない。血液型の違う相方だと断言しても

いい。何があったのかは知らないが、よっぽど我慢のできない夫婦喧嘩の最中なのだろう。自分の気持ちを分かってもらえない身勝手な相方に頭の血が上りきっていて、ムシャクシャする気を落ち着けるためにひとり、蕎麦屋へプチ家出を試みたのだ。いつもはザルせいろを注文するのだが、悔しいから特上の天麩羅もつけてかき込んでいるのだ。「フン、アイツなんか何さ、どうせ血液型も違う他人なんだからね」と憤っている。「一艘さんのような奥様想いの人と一緒になればよかったわ」など思ってたかどうかは知らない。(笑)

喧嘩する程仲が良いなんて言葉もあるくらいだから、ま、腹もクチなくなったらすぐ収まる事でしょう。天せいろで収まる女って実にかワイユイです。アッハッハ

幸せそうに

6月3日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(11名)

野沢省悟・熊谷冬鼓・渡邊こあき・きさらぎ彼句吾・奈良一艘・
笹田隆志・夏草ふぶき・むさし・まみどり・須藤しんのすけ・
小野五郎

▼投句者(20名)

安藤なみ・吉松澄子・柳本恵子・旅男・金瀬達雄・米山明日歌・
城後朱美・鳴海賢治・芝岡かんえもん・岩根彰子・宮井いずみ・
郷田みや・吉田吹喜・田中薫・村上あつこ・まきこ・笹田かな
え・田久保亜蘭・坂本清乃・守田啓子

おかじょうき川柳社

6月例会

席題『傘』

青森県青森市 野沢省悟選

【佳作】

酒絶つてみよか傘さしてみよか 奈良一艘

ミサイルが飛び出す傘を貸してやる むさし

濡れた傘メリー・ポピンズの忘れ物 夏草ふぶき

核の傘の呪縛と線状降水帯 熊谷冬鼓

シエルブルーそこから夢が始まった まみどり

あばすれな傘と線状降水帯 むさし

どの欲の傘ひらこうか閉じようか きさらぎ彼句吾

雨傘なのだ 医薬部外品なのだ 奈良一艘

相合い傘の相手は写楽だったはず むさし

この傘を出ると三人称になる きさらぎ彼句吾

傘をすぼめて空を元に戻してる 夏草ふぶき

雨傘をとりもどそうと警報発令 笹田隆志

【秀逸】 戻らない約束をして傘どうぞ まみどり

紫陽花の暗号初七日の雫 須藤しんのすけ

濡れるまで気づかなかった傘の柄 まみどり

【特選】

日傘くるくるみんなぼっちになってゆく 熊谷冬鼓

※ 最後はみんな一人になってしまふ。日傘の中の暗さには、殺意もあるかもね。

席題『傘』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

雨傘なのだ 医薬部外品なのだ 奈良一艘

戻らない約束をして傘どうぞ まみどり

傘をすぼめて空を元に戻してる 夏草ふぶき

相合い傘の相手は写楽だったはず むさし

六月の傘は認知症きみで 奈良一艘

筆きつて静かに恋は終わらせる きさらぎ彼句吾

特売の核の傘です「どうします」 野沢省悟

紫陽花の暗号初七日の雫 須藤しんのすけ

言い負けてナスの傘下に入ってる 渡邊こあき

ノラ猫に傘を貸してと頼みこむ 笹田隆志

ミサイルが飛び出す傘を貸してやる むさし

酒絶つてみよか傘さしてみよか 奈良一艘

【秀逸】

日傘から雨の滴がこぼれだす 渡邊こあき

どの欲の傘ひらこうか閉じようか きさらぎ彼句吾

百均できがす陽水にあげる傘 野沢省悟

【特選】

この傘を出ると三人称になる きさらぎ彼句吾

※ 三人称になるの表現に脱帽。

宿題 『 枯れる 』

青森県逢田村 むさし選

【佳作】

昔々肌には水がありました
 枯れていく塩焼きそばのしょっぱさで
 男ひとり満月の下立ち枯れる
 直角に曲がる老婆の背を拜む
 枯れ草も肥やしにしてる誕生日
 遊園地いつのまにやら枯山水
 枯れたままここに揺れている
 枯れている男に右手握られる
 鼻緒が枯れています右も左も
 抱いているすぐ木枯らしになる男
 枯れたって綿毛になって飛んでやる
 音程が外れて海が枯れてる
 薔薇一輪水を拒んで尊厳死
 花枯れる音で堂々出番です

芝岡かんえもん
 笹田かなえ
 笹田隆志
 金瀬達雄
 村上あつこ
 渡邊こあき
 郷田みや
 城後朱美
 鳴海賢治
 米山明日歌
 守田啓子
 坂本清乃
 夏草ふぶき
 まきこ

枯れ木に咲いた花でしたおしゃべりでした

海峽をおびきよせてる枯山水

甘噛みをさされて指から枯れてゆく

枯れないようにした虐待と言われた

母の手紙は枯れるほど読みました

おじいさん枯木に花を咲かせてよ

【五客】

カマキリの雄の眸に冬木立

棘だけを置いて灰薔薇逝きました

ただ見てるかあさんの「ん」が枯れるとこ

カサコソカサコソそれがいつしか主旋律

助動詞にしがみつくから枯れるのね

【人位】

『綺麗な灰ね』『テレビばかり見たもの』

残りの赤とのらりくらりと枯れようか

【地位】

泣きなさい人恋いなさい枯れなさい

『特殊詐欺的な呼びかけだね』

鳴海賢治
 笹田隆志
 野沢省悟
 守田啓子
 鳴海賢治
 渡邊こあき
 奈良一艘
 熊谷冬鼓
 守田啓子
 きさらぎ彼句吾
 郷田みや
 旅 男
 きさらぎ彼句吾
 奈良一艘

宿題 『 形 』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

ハルマゲドンの模型で遊ぶ大統領
 山茶花が落ちるカタチで死にました
 形状記憶で生きてていいですか
 丸四角三角楕円塩むすび
 ふしだらな三角形を干している
 筆箱が棺のように置かれてる
 もともとかたちなんてなくていいのよ
 細い手を重ねて阿修羅の祈り方
 女湯でブラックホールが脱いでいる
 河の決壊コロシタイカラコロシタ
 やさしさの欠片がナイフだったとは
 鉄塔の形ぼつちも悪くない
 男の形で残ったままの夜
 握り飯DNAの嘘つばち

小野五郎
 奈良一艘
 守田啓子
 村上あつこ
 まきこ
 むさし
 田中 薫
 柳本恵子
 小野五郎
 守田啓子
 まみどり
 宮井いずみ
 米山明日歌
 岩根彰子

多角形円になりたくて疾走中

人形の片頬だけはずっと冬

三つ程愛の形の穴がある

血も汗も涙も私らしく出る

声帯は音符の形にナリマシタ

何にでもなれる形で初夏が来る

【五客】

右足が祈るかたちに曲がつてる

ギザギザに男は皆んな慣れていく

この国の形いびつかもしれぬ

灰汁のない丸で気づいてもらえない

形見分けずいぶん洒落た耳だった

【人位】

哀しみの形に焼いたパンの耳

【地位】

昭和歌謡は真四角にして歌う

【天位】

五十首泳ぎきつてもまだ歪

『正常に泳げるにはどれだけ時間がかかるのか。』

田中 薫
 米山明日歌
 米山明日歌
 まみどり
 安藤なみ
 笹田かなえ
 むさし
 芝岡かんえもん
 まきこ
 熊谷冬鼓
 田久保亜蘭
 まみどり
 鳴海賢治
 きさらぎ彼句吾

宿題 『自由詠』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

ふたりぼっちになったねメンタムの匂い 野沢省悟
 医薬部外品ですが愛しています 野沢省悟
 パスワード仏様には届かない 田中 薫
 生ゴミを埋めて正解を咲かす 夏草ふぶき
 紙コップ転がるように今行くよ 笹田かなえ
 廊下ではまたもや線状降水帯 奈良一艘
 リラ冷えのタコ足配線から発芽 熊谷冬鼓
 経鼻経管栄養と雲の行方 守田啓子
 象さんの生まれた場所は秘密です 鳴海賢治
 家出願望思春期から生乾き 守田啓子
 理科室のシャーレに影武者がそだつ 宮井いずみ
 落ちていた前書き罇だったのね 宮井いずみ
 見慣れない風で揺らいじやう炎 夏草ふぶき
 中指の秘密人差し指の憂鬱 むさし

ハシビロコウも不眠症だろたぶん
 水溜まりだった昭和の喫茶店だった
 容認するには月を消してくれ
 そうかしら土偶のように口開けて
 夕焼けを泳ぎ切ったら泣くがいい
 日焼け止めの言葉を持ち歩く

【五客】

悪口の使い古した「る」の形
 サヨナラがメール一つでやって来た
 秒針を止めて治した不眠症
 嫌味ならお得意ですよネギ刻む
 きんつばにされてしまった夜でした

【人位】

そこじゃない所で声が裏返る

【地位】

四つ目の胃袋は亡母を反芻

【天位】

ため息を幸せそうにつくんだね

あ。『ひまわりのようなひとなんだろうな』

旅 男
 岩根彰子
 田久保亜蘭
 野沢省悟
 むさし
 吉松澄子

須藤しんのすけ
 村上あつこ
 安藤なみ
 まきこ
 米山明日歌

米山明日歌

岩根彰子

吉田吹喜



おかじょうき川柳社：誌上句会

0番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『数』

選者

四ツ屋いずみ (北海道)

奈良一艘 (青森県)

7/31 〆切

投句方法

※誌に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.htmlへアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。<送信先アドレス：moriko@okajoki.com>

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) ※誌掲載の差付をもって、投句料戻金したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

おかじょうき川柳社

川柳吟行会「ぽ」課題『遊ぶ』

今回の課題「遊ぶ」で、ご自身の句作の事を詠まれた句。

言葉から鍵を外してゆく遊び 宮井いずみ

旅つづく言葉遊びに花遊び 吉見恵子

坂口安吾の碑のように、「あちらこちら命がけ」の遊びなのでしょうか？私はまだ言葉に遊ばれている段階なので、お二人の境地が理解できないのです…。

お二人の句で目標ができました。いつか到達できるように頑張ります。(達雄)

【8点】特×3・佳×2

言葉から鍵を外してゆく遊び

宮井いずみ

【啓子】ほんとうの気持ちを知りたいと思う。恋愛句。

【6点】特×2・佳×2

プーチンの子盗ろ子盗ろが終わらない

滋野さち

【州花】テレビの報道でとりはだか立った。いまだきこんなことがと。【五郎】子供の遊びを取り込んで今日にしている戦争の過酷さを表現した。【冬鼓】理不尽に連れ去られた子供達はロシアこそが正義と洗脳されるのだろう。痛烈な一句。【かなえ】子供の強制移送、許せない。どこまでも非道なプーチン！

【6点】特×1・佳×4

検診の結果(道草しています)

月波与生

【朱美】この道草の意味は、うれしくて遊んでいるのか、落ち込んでウロウロしてるのか？前者でありたい。【冬鼓】道草を括弧で括ったことで心情を想像させて巧み。【隆志】健診の結果が悪かったのか、気になります。【五郎】独自の発想、構成が巧み。【かなえ】○で巧みに読者の興味を引いて、心憎いばかり。

【5点】特×2・佳×1

最後のピース君が持っていたんだね

柳本恵子

【こあき】最後のピースを入れてもらってハッピーエン

表現が巧い。【冬鼓】言葉から何を読み解くか。川柳の書き手と読み手の関係とも思った。鍵を外すの表現に惹かれた。【ふぶき】どんな言葉に、どんな鍵をかけていたのでしょうか。鍵を外していくたびに楽しげな声が聞こえてきそうです。【吉見恵子】言葉の鍵を外してゆくと、最後に寂しさが浮んで来たりして。【与生】SNSの鍵付き機能を連想した。現代的で怖い遊び。

【7点】特×2・佳×3

シロツメクサで編む父の日の股引

守田啓子

【文音】シロツメクサの甘い香りも漂って、父と娘の思い出遊びでしょうか。懐メロのような哀愁を感じました。【吉見恵子】凄いうーモア。こんな可憐な股引見て見たい。【いずみ】大作ですね。お父さんはきつと泣く。【隆志】こんな股引をもらってみたいものです。【さち】マフラーさえ編むことなく別れた日を思い出します。

ドにしてください。【さち】そう言い合えたら最高の伴侶ですね。遊びじゃなくて真剣に！【啓子】抜けているところが私よ。と言いたいのかな？お茶目ですね。

【4点】特×2

二周目の輪ゴムは遊び足りなくて

小野善江

【隆志】二周目の輪ゴムという表現がとても気に入りました。輪ゴムはなんの比喩なのでしょうか。【かなえ】ユーモアとウィットに富んでいる。伸び切った輪ゴムから「まだまだ、人生捨てたもんじゃやない」の呟きが聞こえそう。

【4点】特×1・佳×2

シューニーにしゃがんだままの影法師

熊谷冬鼓

【規子】私はこどもの頃全ての動作の安定感が無くてシューニーが怖かった。しゃがむのも苦手だった。ほろ苦い昔を思い出す。【彰子】影法師が良い。「生きる」の残像にも。【善江】シュールな絵画のような趣の作品に惹かれました

雨の日のブランコそんな遊び方

守田啓子

【しんのすけ】一度濡れてしまえばこっちのもの。あとは全く気にすることなくとことん遊び尽くせる。ああ

スッキリした！【まあこ】情景は暗い！でも何か気になる。【達雄】ずぶ濡れでブランコ、悲しくも楽しい遊び。

【4点】佳 × 4

今朝LINEしました花火したいって

須藤しんのすけ

【啓子】「花火」が気になります。ドラマがありそう。【州花】ラインって便利。こんな時には。【柳本恵子】こんなお誘いがあればすぐに2つ返事です。【五郎】何やら不穏なものを感じさせる作り方。

【3点】特 × 1・佳 × 1

旅つづく言葉遊びに花遊び

吉見恵子

【達雄】私も小説や句を読んで句を書いています。花には興味なかったのですが最近花の写真をよく撮っています。旅つづく。【さち】人生の最後までどちらか命賭けた遊びです。

遊んだ遊んだ 枯山水の庭

笹田かなえ

【善江】ステーブ・ジヨブズも遊びに訪れた「枯山水」の魅力。石や砂で描かれた究極の大人の遊びだったんですね。【文音】今日まで生きてきた過程を肯定する自分

がいて今は静かな枯山水の庭の心境だと思えます。

影踏み頭の数が揃わない

小野五郎

【柳本恵子】最近知人が急に逝ってしまった、この句を読んで今の気持ちにピッタリとはまりました。【しんのすけ】ちよつと惚けたミステリー感がたまらない。

【3点】佳 × 3

猫じやし君が遊びのつもりなら

吉田州花

【まあこ】だったらどうしたいのか、どうするのか…。【こあき】私も遊びよという強がりが見えてかわいい。【達雄】遊びだったら、こちょこちょされるのも怖い。

【2点】特 × 1

サブスクで始める世界のかくれんぼ

月波与生

【彰子】サブスクと世界のかくれんぼの取り合わせのギクシャク感が異種競技っぽくてドキドキしてしまう。

コオロコオロ黒山羊さんが混ぜる島

金瀬達雄

【いずみ】伊邪那美と伊邪那岐が国生みで海をかきまぜた

音。今は悪魔の化身の黒山羊が島を混ぜると言う。怖い。

一つ二つは夢を銜えて遊んでた

笹田隆志

【まあこ】毬つきやゴム跳びを夢中になって遊んだ子供の頃をしみじみと懐かしく思い出しました。「銜えて」に唸ってしまった。

野にるるるニセアカシアに咽ている 熊谷冬鼓

【与生】「野にるるる」、「咽ている」がいい。ニセアカシアは川柳的な響きの言葉なので安易に使うと陳腐になるが、本句は効果的に使われてると感じた。

【2点】佳 × 2

遊び足りない今も青竹

吉田州花

【こあき】青竹はいつまで遊んでも満足しないことでしょう。【文音】人生百歳まだまだ青竹踏んで歩きましょう。

風に揺れる樹の真似をする人嫌い

金瀬達雄

【吉見恵子】人嫌いの比喻が面白い。人間嫌いになると、植物ばかりを相手にするそうだから。【与生】「樹の真似

後ろ髪ひかれて遊ぶ藤の花

福田文音

をする人嫌い」の長い措辞。「風に揺れる」も6音。まだ未整理な感じはあるがユニークさで取った。

【彰子】先ずは絵が浮かびます。藤の花の妖艶さ。【しんのすけ】歌舞伎「藤娘」が浮かぶ、なんとも粹な一句。

おしゃべりな人生ゲームから抜ける

須藤しんのすけ

【朱美】女子会の誘いに、疲れ果ててきたこの頃です。【ぶぶき】おしゃべりな人生ゲームは、気づくと無意味なものだったのでしょか。子供から大人へと移行したように感じました。

チョコレートケーキ遊ぶときは遊ぶ

笹田かなえ

【朱美】はい。私も遊ぶ時はたつぷり遊んでいます。【州花】遊ぶときは遊ぶと思っっているけれど、いつも遊んでいると思われる。

※一点句は割愛させていただきます。

十和田たてがみ川柳会五月句会

○日時 5月20日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・

瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題『慣れる』 福田 芳記 選

【平抜き】

落ち込まず慣れるしかない新天地
政治家の失言続き呆れ果て
不便さに慣れて耐え抜く戦中派
5類でもマスクに慣れて外せない
今晚も慣れ親しんだ猪口で呑む
面倒なキッチン何時の間にか慣れ
慣れた道ستنコロリおめでたし
もういいか慣れた仮面脱いで見せ
慣れた声だけどあなたは誰ですか

高田 幸柳
高田 幸柳
木村奈生美
瀧尻 善英
佐藤まさあき
村上 昌子
村上 昌子
斉藤 蛙井
斉藤 蛙井

手にしっくり父の形見の万年筆 佐藤まさあき

【特選】

人見知りした孫 慣れてもう帰る 瀧尻 善英

■席題『慣れる』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

しゃべり慣れ音読暗誦英会話
不便さに慣れて耐え抜く戦中派
慣れた味コンビ二棚に置いている
三度目はドキドキしない荒療治
新シューズ足に慣れさせウォーキング
戦争に慣れているのかロシア人
定年に慣れた夫婦のアラ探し
不便さに慣れて耐え抜く戦中派
もういいか慣れた仮面脱いで見せ
あたふたが逆に慣れだすべ切日
政治家の失言続き呆れ果て

福田 芳記
木村奈生美
福田 芳記
高田 幸柳
高田 幸柳
佐藤まさあき
福田 芳記
木村奈生美
木村奈生美
村上 昌子
村上 昌子
斉藤 蛙井
村上 昌子
高田 幸柳

■宿題『斜め』 高田 勝幸 選

【平抜き】

パソコンも機嫌斜めで走らない
斜めからのたり春陽が射してきた
斜めから読む明日と言う風の向き
マルよりも斜線が多いわが答案
まだ斜め向いて緊張緩和する
袈裟懸けに斬って捨てるぞ座頭市
国会の居眠り斜め映る恥
ある日から斜線が増えた不登校
反抗期親の意見を斜に構え
ななめから見ればアナタはいい男
似てるかも倍速視聴斜め読み
世の中を斜めにばかり見てる臍
父さんは斜めの僕を許さない

磯島 雅男
斉藤 蛙井
木村奈生美
佐藤まさあき
磯島 雅男
福田 芳記
磯島 雅男
木村奈生美
佐藤まさあき
瀧尻 善英
福田 芳記
瀧尻 善英
城後 朱美
瀧尻 善英

■宿題『波』 木村奈生美 選

【平抜き】

いつか来る津波警報中の地図
波風を立てないように胡麻を摺る
云わ猿の一語波紋を呼ぶ会議
どん底の心共鳴荒む波
民衆派の中に個のテロ居る日本
レンジ派で湯気的笑顔が出来上がる
観光地コロナほどこけて人の波
思春期の海はしよつちゅう波が立つ
波風が立ったゲルニカ唸り出す
失言の批判対策水際で
面白い言葉遣して波枕
しあわせの波を待ってる枯れすすき
波風を立てて男は逃げて行く
荒波に揉まれ性格丸くなり

磯島 雅男
高田 幸柳
高田 幸柳
瀧尻 善英
瀧尻 善英
村上 昌子
村上 昌子
高田 幸柳
村上 昌子
高田 幸柳
村上 昌子
村上 昌子
斉藤 蛙井
城後 朱美
佐藤まさあき

□ 2023.07.23 第74回一朶の雲 まつやま川柳大会

【日時】令和5年7月23日(日)午前10時開会(受付9時開始)【場所】愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール(松山市山越町450番地 Tel 089-926-1633)【宿題・選者】《事前投句》(各題2句・未発表の作品に限る)『すんなり』田中なお(伊予)・藤井智史(岡山)共選/『リセット』仙波草苑(松山)・小野善江(高知)共選*事前投句締切は令和5年6月30日(金)(消印有効)/応募句の他に自選句1句と参加費同封し、〒799-3121 愛媛県伊予市稲荷537-17 山内ともこ方「第74回一朶の雲 松山川柳大会」係あて《当日投句》(各題2句・未発表の作品に限る・投句用紙は受付で)『転ぶ』湊圭伍(松山)・永見心咲(岡山)共選/『器』村山浩吉(松山)・真島久美子(佐賀)共選/二次選者 野口三代子・松木慎吾・柳田かおる及び一次選者全員による点数方式【参加費】2,000円(発表誌贈呈及び弁当代を含む)(切手不可、郵便小為替には何も記入しない)事前投句のみは1,000円(8月下旬発送予定の発表誌をもって領収書に替えます)【贈賞】知事賞ほか副賞(愛媛県特産品等)及び秀句賞(各題3句)【主催】川柳まつやま吟社【後援】愛媛県 松山市 松山市文化協会【問合せ先】川柳まつやま吟社事務局長 大前尚道 Tel 089-952-6774

□ 2023.07.31 第33回青森県民文化祭・文芸コンクール募集要項(川柳)

【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表に限ります。二重投稿、同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。ハガキの表面に郵便番号、住所、氏名(必ずふりがなをつける。本名も付記)、電話番号を記入。青森県内在住で住所を有する方と致します。【参加料】無料。応募は一部門と致します。【締め切り】令和5年7月31日(月)必着【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙をもって入賞通知に代えさせていただきます。【表彰式】令和5年11月5日(日)於・ねぶたの家 ワ・ラッセ 青森市安酸1丁目1-1 TEL 017-752-1311【入選作品集】希望者は84円切手5枚を同封し、〒030-0845 青森市緑1-15-5 中谷恭子 宛 郵送にてお申し込み下さい。【選者】むさし・瀧尻善英・三浦蒼鬼・滋野さち・北山まみどり・藤田めぐみ【賞】川柳知事賞1。川柳準賞1・川柳佳作賞10【投稿先】〒038-0004 青森市富田2-7-43 野沢省悟 TEL 090-3982-2824

■宿題『むさし』 互選

- ① 泣いた分笑って幸を手に入れる 瀧尻 善英
- ② 思いきり泣いたらつかえ消えていた 斉藤 蛙井
- ③ 父と母子に泣き笑い走馬灯 高田 幸柳
- ④ ほろ酔いを越せばいつもの泣き上戸 木村奈生美
佐藤まさあき

◆十和田たてがみ川柳会七月句会案内◆

【時】7月15日(土)午前10時から【所】十和田労働福祉会館【宿題】各題三句詠『布』村上昌子選/『塗る』佐藤まさあき選【互選】(一句詠)『縫う』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)【席題】一題(三句詠・共選) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちら

■会費拝受【5月受付分】

中川喜代子（愛知県） / 芝岡かんえもん（神奈川県） / 高田幸柳（十和田市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

（〒039-3502 青森市久栗坂字浜田87-2）



当柳社前代表・北野岸柳氏が令和5年7月6日午前5時27分、逝去されました。謹んで心からご冥福をお祈りいたします。

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2023.07.12 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」7月句会

【投句締切】7月12日（第2水曜日）【題・投句数】『歌う』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならおかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.07.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（9月号分）

【締切】7月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】9/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2023.08.05 おかげょうき川柳社本社8月句会

【時】8月5日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】8月4日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『騒ぐ』/『奇』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『節約』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子）

□ 2023.08.09 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」8月句会

【投句締切】8月9日（第2水曜日）【題・投句数】『飛ぶ』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならおかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.08.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（10月号分）

【締切】8月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】10/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



2023年7月10日発行(年12回発行) 第27巻/号通巻352号
 ●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●E-Mail:info@okajoki.com

第28回

杉野十佐一賞 作品募集

課題/締切

「雨」(2句詠) / 2023.9.30 ✕

選者

徳永政二 (滋賀県/「びわこ香川柳会」所属)

なかはられいこ (岐阜県/「ねじまき句会」所属)

樋口由紀子 (兵庫県/「晴」編集発行人)

広瀬ちえみ (宮城県/「巫人」編集発行人)

雨森茂喜 (大阪府/第27回杉野十佐一賞大賞受賞者)

むさし (青森県/おかじょうき川柳社代表)

投句料

1,000円 (発表費をもって投句料割引したものとさせていただきます/締め切り日まで投句料納入金されぬ場合のみ作品を受け付けます)

応募方法 ※郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<https://forma.gle/iAX2fZR8vFG37iyc8> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第27回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス(守田香子宛): moriko@okajoki.com >
 送信後、下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

振込先: 郵便局 No.02280-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2024年1月号の誌上において発表。

サイト掲載: 2024年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

某作品は応募者の自作で未発表のものに限り、某応募された原稿に関するお問い合わせ、審査結果の問い合わせには応じられません。某個人情報については、許可なく他の目的で利用することはありません。

又々本を贈呈させていただきます。